

オンライン相談を是非ご活用ください！

来店の必要なし

自由な時間で

お手続きも可能です

弊社では、ご来店やご訪問だけでなく、オンラインでのご相談・お手続きを積極的にすすめております。こんな方に特にオススメです！

- 忙しくてなかなかご来店のお時間が作れない方
- 小さなお子様や高齢の方と普段一緒にいて外出が困難な方
- 遠方にお住まいで、弊社へのご来店が難しい方

オンラインでのご相談・お手続きは「難しそう」とのお声を頂戴しますが、弊社では接続するところまで含めてしっかりとサポートさせていただきますので、お気軽にご用命下さい。

オンラインで実はこんな事まで出来ます

- ・ 保険のご相談全般
- ・ 口座変更
- ・ 保険のお申込み
- ・ 保障内容の確認
- ・ 名義変更（改姓など）
- ・ ご解約（一部）など

オンライン相談のご用命はお電話、または
右記二次元バーコードよりご予約ください。



こんなときにはご連絡をお願いします。

- 給付金・保険金のご請求
- 住所や受取人などの契約内容変更
- 保障内容の見直し
- 口座の変更、クレジットカードの変更
- 保険料の支払いの見直し
- 保険料の振り替えができなかったとき
- 新しい保険について知りたい・・・

Aflac アフラック

〈募集代理店〉
株式会社 **オフィスイトウ**

□ アフラックサービスショップ仙台駅前店

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-1-8 パルシティ仙台2F
TEL.022-791-3861 FAX.022-791-3871

0120-114-140

受付時間
10:00～18:00
定休日：火曜・祝日

□ オフィスイトウ 亘理駅前店

〒989-2351 亘理郡亘理町道田西63-8 宮城林産ビル1F
TEL.0223-33-1080 FAX.0223-33-1088
※時間外はご予約下さい

0120-65-3221

受付時間
10:00～17:00
定休日：土・日・祝

オフィスイトウ 通信 2021 冬号

発行日 2021年12月1日 発行人 株式会社オフィスイトウ

平素はアフラックの保険をご継続いただきましてまことにありがとうございます。
最近では新型コロナウイルスの猛威も落ち着いてきておりますが皆様いかがお過ごしでしょうか。再度感染拡大とならないよう、ひとりひとりの心がけて終息へもう少しだけ頑張りましょう！
来年も皆さまにとってより良い一年となりますことを心からお祈り申し上げます。

今号のトピックス

- 新型コロナウイルスと受診控え
- 介護にまつわるお金のお話
- オンライン相談を是非ご活用ください

●●●●●●●●●● 新型コロナウイルスと受診控え ●●●●●●●●●●

2020年冬号でも同様のテーマを取り上げましたが、今年になり、新型コロナウイルスによる病院への受診控えをしたことで、最近になって様々な問題が起きる事が指摘されています。例えば

- 2020年のがん検診の受診率が40%減ったため、がん診断数も9.2%の減少。
がんが見つかった時には進行している可能性が・・・。
- かかりつけ医に持病の薬を貰いに行かず病気が悪化。特に「高血圧」「糖尿病」「呼吸器の病気」「婦人科の病気」が顕著に。
- 子供の予防接種に行かず、ワクチンで防げたであろう重い感染症を患ってしまい、身体に重大な障がいを残すことに。

医療機関や検診会場などでは、しっかりとした感染予防対策をおこなっています。
新型コロナウイルスに感染しないこと、感染させないことももちろん大事ですがそれ以上に重篤な病気になるリスクもあります。
無理をせず、自分の出来る範囲で受診や検診を受けることをオススメいたします。

弊社 SNS のご案内

営業日のご案内、保険のワンポイントなどお役に立つ情報を配信しています。メッセージ機能でのご連絡もいつでもお待ちしております。





介護にまつわるお金 の話

今号では、9月に新発売の「しっかり頼れる介護保険」を記念し、介護に関係するお金について取り上げています。皆様がこれから迎えるであろう介護について、正しい情報をお伝えしておりますので少しでもお役に立てれば光栄です。少し長くなりましたので、右下にまとめマンガも作りました。是非ご一読ください。

1. 長寿になるほど、介護が必要

皆様もご存じの通り、日本は「超長寿社会」に突入しました。これから日本人の平均寿命は更に伸びる予想となっており、20年後の2040年には男性83.27歳、女性89.63歳になると推定されております。同様に、長生きをする割合も平均寿命と同様に伸びるだろうと見込まれており、2040年時点で65歳を迎えた男性の約40%、女性約68%の方が、90歳まで生存すると見込まれております。

現在でも75歳以上の人口が1800万人程度、85歳以上の人口が620万人程度と、すでにかなり多くの高齢者が既にいらっしゃいます。そしてこれから10年の間に更に高齢者の人口は増加して行くものと思われまます。

そして75歳を過ぎると介護を必要とする方が急激に増えていきます。75歳以上の全体で32.1%、85歳以上は60.6%が要介護の認定を受けており、年齢が高くなるほど要介護の認定を受ける人が多くなります。

つまり、平均寿命が伸びるものの、日常生活の動作や外出、仕事、家事などを一人で行うことが出来ず、何らかの介護を受ける期間もそれだけ伸びる可能性があるかと予測されています。

2. いつ誰が介護をするの？

では介護が必要な高齢者を誰が支えるのでしょうか。子？子の配偶者？配偶者？それとも有料のサービスでしょうか。要支援1～2程度では一般的には一日中ずっと見ているという事も無く、必要な時に手を貸す程度でしょうが、要介護3以上ともなれば一日中どなたかが見ている必要があるかもしれません。特別養護老人ホームも原則要介護3以上の認定を受けた場合のみ入所が可能ですが、申込をしても空きが無い等で入所を断られるケースがあります。

最近では、今後の高齢者増を見込んだ民間の介護付有料老人ホームもありますが、入所に係る費用もかなり大きいもので、毎月の支払額も大きくなるため、きちんとした資金計画が必要になるかもしれません。

3. 重症化しないように

介護状態が重症化しないよう、国や自治体を中心となり様々な取り組みが行われています。要介護1程度では、実は現状維持や回復が可能な程度と比較的軽い介護状態となっております。重症化予防を何もしなかった場合、重症化するリスクが高くなります。

要介護1や2の段階で、3以上にならない様に介護サービスを利用して重症化を防ぐ事が自分も、周りへも、そして何よりこれからかかるであろうお金にも非常に重要となってきます。

4. 具体的にかかる費用は？

公的介護保険の支給限度額は介護認定で決まっていますが、要介護1や2の軽度の認定の場合限度額まで使われない傾向が強く、介護が重くなる不安と老後資金の減少を心配されていることがわかります。(要介護1で月額167,650円まで利用できますが、98%以上の利用者は限度額まで利用していません。) デイサービスの利用が主な利用となりますが、手すりや歩行器の購入にも使う事ができます。(工事が不要で持ち運びが可能なもの)

また、それでも重症化した場合、特別養護老人ホームの利用料の平均は月14万円程度、有料老人ホームの平均額は月23万円程度となっており、公的年金と介護保険の利用でも不足する可能性があります。

5. どのように準備するか

現金(預貯金)や公的年金で準備する事が可能な場合もあるかと思いますが、今回発売となった「しっかり頼れる介護保険」でしっかりとご準備いただけます。

<しっかり頼れる介護保険のポイント>

- ・要介護1から給付金をお支払い
- ・要介護状態と認定されたら保険料の払込が免除
- ・給付金額を自由設計する事が可能

資料のご請求、ご相談は弊社までご連絡ください。

<p>高齢者が増えるにつれて 介護が必要な人も増える</p>  <p>寿命も伸びてるから 健康寿命の後が長い</p>	<p>重症化すると 家族の介護にも限界が</p>  <p>特別養護老人ホームには 入りたくても入れない</p>
<p>重症化しないように 介護サービスを利用</p>  <p>重症化するより お金はかからない</p>	<p>老後資金を減らさずに どのようにして</p>  <p>介護資金を準備しますか？</p>